

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	商工課長 田邊 幹浩	
市民-10	実施事業	商工運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 商工課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	商工業振興の充実

1 事業の目的

対象	事業者等
意図	商工業の振興、物産振興を図るため。
効果	産業の維持、発展と活力あるまちの創出を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

商工事務事業に係る庶務的業務を行った。 萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数			
	決算値(千円)	2,751	2,826	当初予算(千円)	3,254		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	390	390	その他	390		
	一般財源	2,361	2,436	一般財源	2,864		
事業経費運営	人員配置数	0.2	0.2	人員配置数	0.2		
	人件費(千円)	1,756	1,597	人件費(千円)	1,569		
	総事業費(千円)	4,507	4,423	総事業費(千円)	4,823		
	市民1人当りの経費(円)	26	25	市民1人当りの経費(円)	27		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済 <input type="radio"/> 協働実施済の場合のパートナー 姉妹都市（萩市、上田市、足利市）

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	庶務的業務の円滑な執行と、物産の振興を図るため。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	円滑な事務執行と物産振興を図り、産業の維持、発展と活力あるまちの創出に努める。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	姉妹都市物産展の開催等により、円滑な事務執行と物産振興を図れており、特段の課題は無い。							
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組								<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	例年会場としていた鎌倉生涯学習センターが耐震改修工事により使用できないため、他の会場を検討する必要がある。本市の商工業に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、鎌倉市商工業振興計画を策定に向けて協議を行う。							

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	姉妹都市物産展の来場者数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
来場者数の推移を把握するため	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	4,926	4,200	3,243	3,003	4,155				
	達成率	-	-	-	-	-				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成28、29年度は天候不順のため、大幅に来場者が減少している。									
-----------------------	----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--